

学校名 美里町立東児玉小学校
所在地 児玉郡美里町阿那志13
電話 0495-76-0335

1 本校の概要

本校は、県北西部に位置し、遠くに上毛三山が見渡せる緑豊かな田園地帯の中央に立地している。児童数 233 名の中規模校である。地域との結び付きが強く、読書活動における関わりをはじめ、登下校の見守りや米作り等、様々な場面において、地域の方に子供たちの教育活動を応援していただいている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書週間に係る取組
- ・ 家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

ア 図書委員会による取組

委員会の児童のおすすめの本を年2回ポスターにして紹介をした。10月の委員会発表に向けて、大型紙芝居を町の図書館から借用し、業間休みに練習をした。本番では、リモートによる発表会を行い、最後に紙芝居の内容に関するクイズを出題した。

イ ボランティアによる読み聞かせ

地域の読み聞かせボランティアの皆様が毎月2回、1～3年生を対象に本の読み聞かせをしていただいている。



ウ 職員による本の読み聞かせ

6月に全学級に2回ずつ職員による読み聞かせを行った。授業等のかかわりのない学級に読み聞かせを実施した。職員は、自分が今読み聞かせをしたいものや自分が小学生の時に読んでよかったものを選んで実施した。



エ 町の図書館との連携

9月～10月に1年生～3年生に120冊、11月～12月に4年生～6年生に130冊の本を図書館から借用し、学級文庫として活用している。

オ 図書バッグの活用

机の横に本を入れた手さげバックをかけ、いつでも本を読めるようにしている。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 図書委員の児童がポスター作りやしおり作りに意欲的に活動をした。

イ 読み聞かせボランティアさんの心のこもった読み聞かせによって、本の世界に引き込まれ、本の魅力や醍醐味を味わうことができた。

ウ 職員の読み聞かせにより、一層読書を身近に感じられるようになった。

エ 月の冊数の目標を達成するとしおりをもらえることにより、児童の読む意欲が高まった。

(2) 課題

年間の読書量を達成するために、視覚に訴えて意欲を高めるように工夫していく必要がある。

(3) おわりに

地域や家庭と連携し、児童の読書活動の推進に一層力を入れていきたい。